

～1学期終業式の言葉～

おはようございます。では、まず、朝の準備が整っているかの確認をしますね。名札はついていますか？わたしがやり抜くことカードに書いたことなので、1学期最後の声かけです。自分のこと確認してください。

名札を付けるということは、学校の安全・安心のために当たり前やらなければならないことです。もし、自分勝手な理由で、それをやっていない人がいるとするなら、その考え方はやめた方がいいです。絶対に損をする考え方です。今、ちゃんと名札をつけられている人は、当たり前のことを自分の意志できちんとできる人です。その考え方は素晴らしいです。全員が名札を当たり前付けている姿になれたらいいなあって思っています。

次、悲しいことを一つ。嬉しいことを二つ話します。どちらも先日の避難訓練に関係することです。

悲しいことは…がっかりだったことです。私が体育館で感じた様子からは、みんな真剣に訓練に臨んでくれたと感じたのですが、あのあと、先生方から聞いた様子の中に、初めから最後まで話しながらふざけた様子で臨んでいた子がいたと聞いて、とても残念でした。やろうと思えばできたことをやらなかった、たった数人の人のために今、私はみんなの時間を使って話しています。なぜなら、その子たちを見捨てたくないからです。それはカッコ悪い姿だとわかってくれると信じたいからです。

次、嬉しかったことは、あの時「地震の後の火災だから」と、自分で判断して教科書で頭を守りながら、ハンカチで煙対策もして避難できた子がいたことや、次の日のお昼過ぎに実際に揺れを感じたクラスで「地震や」という誰かの声に反応して、クラス全員が机の下にもぐる行動を素早くとれたと聞いたことです。

どちらもやったほうが良いこと、やらなければならないことを、自分の判断でできていたことが素晴らしいと思います、嬉しくなりました。

自分で正しいことを判断して、それを行動に移すってすごいことだと思うんです。怒られる怒られないとか、バレるバレないで生きるのではなく、正しいか正しくないかを自分で決めていることがかっこいいなって思います。まさに弁慶の「智」の心ですよ。

今日で1学期が終わりますが、振り返ってみてどうですか？生徒会目標にある「智・仁・勇の心」を大切にすることはできましたか？自分の成長を実感できる1学期となりましたか？どんなに小さなことでもいいので、自分で自分をほめてあげられるといいですね。何もないことはない。絶対にあるから見つけてみてください。

みなさんがこれから生きていく時代は、本当に変化が速く、これまで経験したことがないような、誰も答えのわからない困難を、次々と乗り越えていかなければならない社会です。そのような時代を、自分は生き抜いていかなければならないのだということを自覚して、この中学生の時期に大人になる準備をするのと、何も考えずに過ごすのでは、未来の姿が違います。

どうか、将来、自分という人間の価値で勝負できる人になってください。この世の中に価値のない人などいません。一人一人おぎゃあと生まれてこられたこと、このことがまず奇跡で尊くて価値のあることなのです。そして、無事にここまで元気に過ごすことができていて、これもまた奇跡だと私は思っています。だからこそ、今を大切に生きてほしい、未来を大事にしてほしいと願うのです。これから出会う人やこれから得られる経験を通して、自分の見方や世界を広げて、自分という人間の価値、つまり生き様・生き方、それまで過ごしてきた時間に胸を張れる人になってほしいと思います。人の価値は何か一つのもので測れるものではありません。何でもいい。人を傷つけることでなければ何でもいいです。何かに向かう意欲さえあれば、世界はどんどん広がっていきます。この夏、たくさんのトライアンドエラーで、自分の世界を広げてください。成功の反対は失敗ではなく、何もしないことでしたよね。トライアンドエラーです！

来週にはパリオリンピックも始まります。心が震えるような感動を目の当たりにして感じることもたくさんあると思います。充実した夏を過ごして、一回り成長したみなさんに会えることを楽しみにしています。

以上、1学期終業式の言葉とします。